

新静岡セノバ 第8回日本SC大賞「ES賞」受賞しました！

第21回テナントが選んだディベロッパー大賞 × 第8回日本SC大賞
ES部門ダブル受賞！！

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会（以下、SC協会）が主催する第8回日本SC大賞にて、新静岡セノバが「ES賞」を受賞、5月21日に行われた表彰式にて表彰を受けました。

織研新聞社主催 第21回テナントが選んだディベロッパー大賞「ES賞」と合わせて、ES部門ダブル受賞となりました。

日本SC大賞は、一般社団法人日本ショッピングセンター協会がこれからのSCの在り方を示唆し、社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として創設されました。2年に一度、全国約3,200のショッピングセンターの中から選考され、各賞が贈られます。ES賞は、SC協会が取り組みを強化している人材確保対策の一環として、2018年に発表した「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」に準拠した優れた取り組みを評価されたショッピングセンターが選出されるものです。

(ES：従業員満足度(Employee Satisfaction)の略)



選考理由は以下の通りです。(SC協会報道発表資料より)

ES賞「新静岡セノバ」

静岡県静岡市 / 推薦支部 中部支部

【選考理由】

セノバで働いている人は「セノバファミリーである」という思いを込めて、ディベロッパーは、セノバで働いているスタッフに「退屈させない」という熱意のもと、さまざまな施策に取り組んでいる。

企業主導型保育のSC導入全国3施設目となる「セノバ保育園」は、テナントスタッフサポートとして同社が投資・運営(運営は委託)し、職員の26名中18名をテナント従業員として直接契約する。土日営業や21時までの無料延長保育、自園給食施設(厨房を備える)によるきめ細かな食事対応(アレルギー対応等)等を行なっている。特筆すべきは、マネジメントオフィス業務アンケートの実施結果を踏まえて開園にいたったことである。1年の準備期間に子育て中のスタッフに何度もヒアリングを重ね、施設設備や運営サービスの内容を組み立てた。ESの視点で徹底的にやる、という姿勢が支持され、保育園利用目的を動機として求職エントリーする従業員も増加している。

また、アンケートをもとに電子タバコ専用の喫煙ルームの設置や、タブレット全店配布も行った。こうしたアンケートやヒアリング、日々のコミュニケーションからの情報をもとに、テナントスタッフのことを思った工夫がなされている。

テナントスタッフとの距離を縮めようと、スタッフ懇親パーティーを年2回開催。1500～1600名のスタッフがいる中で、夏400名超、冬500名超が参加する。テナントに限らず、施設管理(駐車場・警備・清掃)のスタッフ向けにも年1回もてなす会を実施している。ほかに、接客ロープレコンテスト「セノ1グランプリ」(優勝者にはオリジナルバッジを贈呈)や、セノバアカデミー(店長やテナントスタッフ向け研修会)の実施。2019年1月のSC接客ロールプレイングコンテスト全国大会には、館をあげてバスで応援に駆けつけた。

SC協会の「ES宣言・行動指針」を受けて、休館日設定やレストランフロアの閉店1時間前倒しを実施(2019年2月)、従業員の業務負担軽減に制度的に結び付くものと期待される。

